長渕剛 被災地から祈りの歌

紅白で異例の未発表曲「ひとつ」

音楽家・長渕剛（55）が8年ぶり3度目の第62回NHK紅白歌合戦で、東日本大震災の被災地から生中継で歌うことが18日、明らかになった。中継場所は破壊された家々やがれきが残るまさに被災地だが、安全と演出上の都合から直前まで公表しない。長渕はギター1本で、未発表曲「ひとつ」を歌う。紅白で歌唱曲が初披露されるのは極めてまれ。被災地からの中継は長渕だけで、NHKは「今年の紅白の象徴的なシーン」として期待している。

中継場所は直前公表

注目されていた東日本大震災の被災地からの中継歌手は、長渕だった。NHKサイドは「震災後、何度も足を運び、自分の音楽活動をひとまず置いても復興を応援してくられた。その長渕さんに東北の地からの中継という形での出演をご了承をいただいた。今年の紅白の中で、印象的な、象徴的なシーンになると思う」としている。

長渕は震災直後に散文詩「復興」を発表。被災地に向けたラジオ番組を立ち上げるなど、積極的に支援活動を行ってきた。NHKから中継での出演依頼を受けた際は「意味ある指名をしていただいた。行きましょう」と快諾した。長渕は、6月に宮城・石巻市内の日和山公園で、NHKの音楽番組「SONGS」の収録を兼ねたライブを行った。被災地でのその実体験も、同局が依頼する大きな要因となったようだ。

紅白決定後、長渕は中継の候補となる東北の被災地各地を訪れ、あらためてその被害の大きさを目に刻んだ。「もちろん、まだまだですが、被害のひどかったところが整地に向かっているなど、人間力や連帯や絆で、1歩ずつ前に行っているのを感じた」という。

長渕は、被災地から未発表曲「ひとつ」を歌う。「震災直後は激情を散文詩にたたきつけたが、亡くなった方の無念さや残された者の不安などすべてを含んだ、祈りの歌がない、と思った。炎のように膨れ上がったその思いを、歌にしたいと思った」という。曲の完成後のタイミングで、出演を依頼したNHKも長渕の考えや曲の内容に共感し、紅白では異例の未発表曲の歌唱が決まった。

当日は、過度な演出はなく、被災地に立つ長渕を照明のみで照らし出す演出になる。長渕は「怒りをたたきつけていく歌い方ではない。その怒りをも解かしてくれるような東北の優しさを感じながら、静かに歌いたい」と話している。

「ひとつ」
作詞・作曲・編曲／長渕剛
ストリングス編曲／弦一徹

ひとりぼっちに　させてごめんね
もう二度と
離さない　離れない　離したくない
君によりそい　そばに生きるよ
もう二度と
忘れない　忘れさせない　忘れたくない
悲しみは　どこから　やってきて
悲しみは　どこへ　行くんだろう
いくら考えても　わからないから
僕は悲しみを　抱きしめようと　決めた
ひとつになって
ずっといっしょに　共に生きる
ひとつになって
君と生きる　共に生きる
月のしずくが　涙にゆれて
海に光る
逢いたくて　逢えなくて　それでも僕は探した
星が降る夜　君を想い
ずうっと　歩いたよ
明日きっと　明日きっと　しあわせになれるね
永遠のしあわせは　どこから　やってきて
永遠のしあわせは　どこへ行くんだろう
いくら考えても　わからないから
僕は悲しみを　抱きしめようと　決めた
ひとつになって
ずっといっしょに　共に生きる
ひとつになって
君と生きる　共に生きる

紅白歌合戦で東日本大震災の被災地から中継出演する長渕剛

中継はこの人から

◆長渕と紅白歌合戦　▼初出場　90年の第41回で、前年に東西ドイツの壁が崩壊したベルリンから第1部のトリとして中継出演した。紅白史上初の中継演出で「親知らず『いつかの少年』「乾杯」を歌唱。対戦相手はシンディ・ローパー。

▼13年ぶり2度目　03年の第54回で、「しあわせになろうよ」を歌唱。1部のトリで、「狼たちの遠吠え」を提供した森進一のバックに、ギターとコーラスでも登場した。対戦相手は倉木麻衣。

◆長渕剛の東日本大震災復興への主な活動

▶散文詩発表　4月3日に散文詩「復興」を発表。「憎い　憎い」で始まる長編で、尊い命やふるさとを奪った津波を呪いつつ、ひるまない人間の絆と強さを表現した。

▶ラジオ番組開始　4月7日から被災地向け番組「長渕剛 RUN FOR TOMORROW～明日に向かって～」がスタート。9月末で終了したが、当初の10局から全国23局ネットに拡大した。

▶自衛隊激励　4月16日に航空自衛隊松島基地（宮城）で、約1500人の自衛隊員の前でライブを行う。過酷な任務で被災者を支援する隊員を激励した。

▶1000人と合唱　6月26日に、石巻市日和山公園で、被災小学生や住民、ゴスペル・クワイヤーらと「TRY AGAIN for JAPAN」を鎮魂と希望の歌として歌った。NHK総合「SONGS」で放送された。

▶被災児童とキャンプ　8月1日から6泊7日で、福島第1原発事故の影響で避難生活を送る福島・浪江町の小学生20人をふるさと鹿児島の霧島市に招待。

▶チャリティーCD　9月7日に「TRY AGAIN for JAPAN／お家にかえろう 2011」を発売。全収益を被災した子供のために寄付。